

はつらつ宮っこ

今、輝いている市民

紅茶で育む郷土愛

宇都宮から広がるおもてなしの輪

世界のお茶の専門店 Y's tea 社長 根本 泰昌さん

「宇都宮に誇りを持ち、ここに生まれて良かったと思えるような街にしたい」と話す根本さん。根本さんが社長を務める、紅茶専門店のワイズティーネットワークが、全国的にも珍しい中央小学校「紅茶部」でのさまざまな取り組みが認められ、青少年の体験活動推進企業表彰の文部科学大臣賞を受賞しました。

もともと東京で一般企業に勤めていた根本さんですが、地元である宇都宮について、「知名度が低く、郷土愛が少ない人が多い」と危機感を持ち、一念発起。



が紅茶の消費量で日本一を獲得。中央小学校の依頼を受け、3年をかけて、地域の人と子どもたちが一体となって活動できる紅茶部が誕生しました。

人と地域が同時に元気になり、魅力アップできる候補を5000個考え、その中から選んだ紅茶で専門店を設立しました。

「宇都宮に生まれたからこそできる特別な体験」と、紅茶を通してさまざまな活動に取り組んできた根本さんが次に目指すものは東京オリンピック。「歴代紅茶部の部員を連れ、紅茶で選手たちのおもてなしをしたい。子どもたちにとって一生に一度のかけがえのない体験になるはず」と、宇都宮の子どもたちが入れる心のこもった紅茶は、地域を超えて広がります。

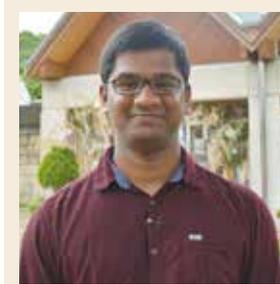


中央小学校紅茶部

0年には、宇都宮

そして、201

今回のゲスト



シェティ ラクシットさん (インド)

インドムンバイ出身。昨年より市内に在住し、自動車会社でエンジニアとして勤務。趣味は絵描きとエレキギター。日本に来て好きになった食べ物は、唐揚げ、ラーメン、餃子。



外国人の皆さんに宇都宮のイトコを訪れてもらいました

今回のテーマは「クラフトビール」

今回、私が訪れたのはクラフトビールを味わえる2カ所。まずはろまんちっく村(新里町)にあるクラフトブルワリーです。工場見学をしながら、ビールができるまでの工程を教えてくださいました。宇都宮産のビール麦にこだわってクラフトビールを造っていて、全国に宇都宮を発信したいという山下さんの熱い想いを感じ、飲みやすくして香りの良いクラフトビールが好きになりました。

次に訪れたのはブルーマジック(池上町)。県内で醸造されているクラフトビールなどを数種類楽しめる他、この日はなんと「とちおとめ」を使った「とちぎフルーツプレミアム苺」をいただくことができ、フルーティでほんのり甘く飲みやすいクラフトビールに感激しました。

クラフトビールがあるのは文化的にとっても素晴らしいことです。その土地の味を感じることができると思います。皆さんも、地元の思いが詰まったクラフトビールを、ぜひ味わってみてください。



1クラフトブルワリーで山下創さん(醸造所長)より説明を受ける2クラフトブルワリーで醸造されたクラフトビールを味わう(右から麦太郎、IPA、F)3ブルーマジックで丸山魁さん(醸造担当)より説明を受ける4ブルーマジックで飲み比べた4種(左からエーデルピルス、とちぎフルーツプレミアム苺、ブラウンエール、マシマシの黒)。

「クラフトビール」について、8月13日(日)午前10時30分~10時40分とちぎテレビ「教えてイトコUTSUNOMIYA」(再放送)で放送します(48ページ参照)。併せてご視聴ください。

◎**火事などの災害情報は消防出動情報**で 消防出動情報は、電話や携帯サイトでお知らせしています。119番は火事や救急などの緊急通報用電話番号です。適正利用にご協力ください。なお、停電時には使えない電話があるので、携帯電話や公衆電話から119番通報をお願いします。災害情報テレホンサービス(自動音声) ☎(624)2441、携帯サイト 📄http://utsunomiya.mwjp.jp/mobile/?page=119。📞消防局通信指令課 ☎(625)5599